

高病原性鳥インフルエンザまだまだ予断を許さず

◆広島県内の採卵鶏農場で今シーズン10例目の発生が確認されました。今シーズンは地域に偏らず散発的な発生が続いており、今後も何時、何処で発生するか分からない情勢です。



◆大阪府、岩手県、北海道内でまとまったケースで死亡カラスの高病原性鳥インフルエンザ陽性事例が続いています。

◆飼養衛生管理基準の遵守を基本に、農場に出入りする人、資機材、車両等の消毒など衛生対策、普段は届きにくい場所も含んだ野生鳥獣の侵入防止、毎日の健康観察と異常の早期発見・早期通報の徹底をお願いします。